

# BEST AVAILABLE COPY

PAT-NO: JP401018797A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01018797 A  
TITLE: FLOATING CONSTRUCTION FOR EVENT CITY  
PUBN-DATE: January 23, 1989

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YAMAMOTO, EIZO

INT-CL (IPC): B63B035/86, E04H003/00

US-CL-CURRENT: 114/264

## ABSTRACT:

PURPOSE: To build and use a marine leisure facility without preparing a special space by floating a hollow floating body which can be moored or moved arbitrarily and setting various equipment therein.

CONSTITUTION: A roofed all-weather type event space 3, an airplane runway 4 and a heliport 5 are provided on the upper face of a hollow floating base 1 which is moored with mooring wires 1 such as anchor chains and can be self-propelled with propelling equipments 21 each consisting of a propeller 19 and a rudder 20. In addition, various leisure facilities, various shops and sleeping accommodation 7 are also provided on the upper face of said float base 1 or inside therein and a shuttle ship berth 13 and marine base 14 for motor boats.

COPYRIGHT: (C) 1989, JPO&Japio

---

# Printed by EAST

---

**UserID:** SBasinger  
**Computer:** WS10553  
**Date:** 10/27/2004  
**Time:** 08:06

## Document Listing

Document	Image pages	Text pages	Error pages
JP 01018797 A	5	0	0
Total	0	0	0

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭64-18797

⑬ Int.Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月23日

B 63 B 35/86  
E 04 H 3/00E-8309-3D  
7606-2E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 イベントシティー用水上浮揚構造物

⑯ 特 願 昭62-177800

⑰ 出 願 昭62(1987)7月14日

⑱ 発 明 者 山 本 永 造 大阪府大阪市北区西天満5丁目1番3号 ヤマト電気エンジニアリング株式会社内

⑲ 出 願 人 ヤマト電気エンジニアリング株式会社 大阪府大阪市北区西天満5丁目1番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 藤本 英夫

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

イベントシティー用水上浮揚構造物

## 2. 特許請求の範囲

(1) 水面上に浮かべて係留可能に構成された中空状の浮体の上面部に、屋根付きの全天候型イベントスペース、飛行機用滑走路およびヘリポートを設けると共に、前記浮体の上面部または内部に、各種娯楽設備、各種店舗設備および宿泊設備を設け、かつ、前記浮体の外面部に、シャトル船用バスおよびヨット、モーターボート用マリーナを設けてあることを特徴とするイベントシティー用水上浮揚構造物。

(2) 前記屋根付き全天候型イベントスペースをエアドームで構成してある特許請求の範囲第(1)項に記載のイベントシティー用水上浮揚構造物。

(3) 前記シャトル船用バスの出入り口に開閉可能なドアを設けると共に、前記ヨット、モーターボート用マリーナに防波堤を設けてある特許請求の範囲第(1)項または第(2)項に記載のイ

ベントシティー用水上浮揚構造物。

(4) 前記シャトル船用バスまたはヨット、モーターボート用マリーナの一部に、前記浮体を押圧または曳航して推進させるためのクレーン装置を常設配置してある特許請求の範囲第(1)項または第(3)項の何れかに記載のイベントシティー用水上浮揚構造物。

(5) 前記浮体に推進装置を設けてある特許請求の範囲第(1)項または第(4)項の何れかに記載のイベントシティー用水上浮揚構造物。

## 3. 発明の詳細な説明

## &lt;産業上の利用分野&gt;

本発明は、レジャー・娯楽設備に関し、特に、全く新規なイベントシティー用水上浮揚構造物を提供せんとしてなされたものである。

## &lt;従来の技術&gt;

近年、経済的・文化的先進国における都市住民の間ではより豊かなレジャー・娯楽(以下、リゾートと総称する)設備の設立が熱望されており、特に我が国においては、蓄積された富を有効利用

した国民生活の質的向上という基本的課題、および、最近の貿易摩擦に端みたる内需拡大という国家政策上の重要課題等とも相俟って、かかるリゾート開発指向が極めて強い現状にあり、例えば、政府または地方公共団体自らの奨励による民間活力利用形式の海岸レジャーランドやイベントシティー等のリゾート設備の設立事業が、多数の地域において計画または着手されつつある。

<発明が解決しようとする問題点>

しかしながら、上記したようなリゾート設備設立事業の従来における具体的な実情を見るに、そのための用地を確保する手段としては、不況兼雇の工場後地を買い取って造成するとか、あるいは、岸を埋め立てて造成するといった方法が採用されていたために、

(ア) 何れの方法による場合においても、用地の取得および造成のために莫大な投資費用を必要とすると共に、一般に、その用地周辺の住民等とのコンセンサスを得るために非常に長期間に亘る困難かつ面倒な手続を必要とする、

あって、比較的少ない投資費用で且つ容易に実現できると共に、汎用性が高く長期に亘って安定した経営を行える海岸レジャー設備を開発せんとすることにある。

<問題点を解決するための手段>

かかる目的を達成するために、本発明は、

水上に浮かべて係留可能に構成された中空状の浮体の上面部に、屋根付きの全天候型イベントスペース、飛行機用滑走路およびヘリポートを設けると共に、前記浮体の上面部または内部に、各種娯楽設備、各種店舗設備および宿泊設備を設け、かつ、前記浮体の外面部に、シャトル船用バースおよびヨット、モーターボート用マリナを設けていることを特徴とするイベントシティー用水上浮構構造物、

を提供するものである。

<作用>

上記特徴構成を備えた本発明に係るイベントシティー用水上浮構構造物において発願される作用ならびに利点は下記の通りである。

(イ) 特に、従来の岸の埋め立て造成方法による場合には、海洋自然環境に大きな影響を与えて漁業捕獲等の問題を生じ易く、また、海上交通事情による制限のために、主たる利用者の住む都市部からは遠く離れた不便な地域における誘客を満足せざるを得ない。

(ウ) 更に、何れの方法による場合においても、それにより取得造成された用地に設立される海岸レジャーランドやイベントシティーは固定的なものであるから、利用者からみて変化に乏しく何度も繰り返し利用する気持ちになり難く、また、開催するイベントの種類によっては不便なことがあったり、あるいはまた、将来の周囲環境の変化によってリゾート地としての立地条件が損なわれなくなってしまう虞れもある、といったことから長期に亘って安定した経営を継続できるとは限らない。

といった種々の問題があった。

本発明は、かかる実情に鑑みてなされたものであって、その目的は、格別な用地の確保が不要で

即ち、本発明に係る海岸レジャー設備(イベントシティー用水上浮構構造物)は、従来のように工場後地や湾などの特定の沿岸土地を利用して設立するのではなく、水上に浮かべて係留可能に構成された中空状浮体により構成されるものであるから、格別な用地の確保が不要であると共に、例えば造船所などの工場において一括して(あるいはブロック別に)効率的に製造することができるから、従来の方法に比べて格段に少ない投資費用で且つ容易に実現可能であり、そして、外洋、内海、湖等を問わず任意の箇所の水上に配置できると共に、必要とあれば何時でも任意に移動させることができるものであって、しかも、屋根付きの全天候型イベントスペースを備えているから、非常に多種類のイベントを開催でき、また、各種娯楽設備、各種店舗設備および宿泊設備を設けているから、利用者は様々な娯楽およびショッピングをゆったりと楽しむことができ、更に、飛行機用滑走路、ヘリポート、シャトル船用バースおよびヨット、モーターボート用マリナ等多種類の交通手

段のための受入設備を備えているから、利用者にとって非常に便利であってその誘致効率に優れており、従って、利用者からみて非常に変化に富み、また、汎用性にも富んだ便利なものとなり、以って、長年に亘って安定した経営を継続できる可能性が大きい、といった種々の利点が期待できる。

#### <実施例>

以下、本発明の具体的な一実施例として、特に外洋（公海）上において利用することを目的として構成されたイベントシティー用水上浮橋構造物を、図面に基いて詳細に説明する。

第1図の全体平面図および第2図の全体側面図に示すように、外洋上の任意の箇所における水面上に浮かべる状態で、アンカーチェーンなどの係留索1…により係留配置可能な中空状の浮体2を構成してある。なお、この例では、前記浮体2の平面視形状を四角形としているが、その他の多角形あるいは円形、楕円形等、任意の形状を採用することができる。また、前記浮体2の中空内部には、図示はしていないが、発電機、海水淡水化装置、

ボーリング場、映画館、ゲーム場、カジノ等の各種娯楽設備11…およびレストラン、免税ショップ等の各種店舗設備12…が設けられている。なお、これら娯楽設備11…や店舗設備12…は、前記浮体2の中空内部に配置することも可能である。

また、前記浮体2の外周部には、比較的近い地域の輸送を行うためのシャトル船や、ヨット、モーターボートでやって来る利用者を受け入れるための受入設備としてのシャトル船用バース13…およびヨット、モーターボート用マリーナ14が設けられている。

前記シャトル船用バース13…は、夫々、第3図の拡大縦断面図に概示しているように、例えば比較的厚手で強固な開閉可能なドア15（この例では巻掛けシャッター形式のものを示しているが、その他の形式のものでもよい）を設けることにより、その出入り口を開閉可能に構成されており、これによって、外部の波浪がバース13内へ侵入するのを遮断できると共に、シャトル船の不在時

水浄化装置、低留費用ウインチ、各種配管および配線、通路等の所要の施設が内蔵されている。

そして、前記浮体2の上面部には、野球、サッカー、ラグビー等の各種スポーツをはじめとして、各種娯楽フェアあるいはショー、展示会などの様々なイベントを、天候の如何にかかわらず開催することができる、屋根付きの全天候型イベントスペース3（この例ではエアドームで構成されているが、その他の形式を採用してもよい）が中央部に配設されていると共に、遠隔地の利用者の輸送を行うための飛行機やヘリコプターの受入設備としての飛行機用滑走路4、ヘリポート5…およびその付帯設備としての格納庫/修理工場6ならびに、宿泊設備（ホテル）7…、娯楽設備の一種である野外プール8等が配設され、更に、各設備に対する管理および外部との通信等を集中的に行うための管理センター9が設けられている。

前記全天候型イベントスペース3の内側周部には、第2図において点線で示しているように、観覧席10が形成されていると共に、その下方には、

においてバース13内を閉水槽（室内プール）として利用することもできる。また、前記ヨット、モーターボート用マリーナ14の外縁部には、その両端の出入り口を除いて防波堤16が設けられている。なお、このヨット、モーターボート用マリーナ14にも、第1図中点線で示すように開閉ドア17、17を設けるようにしてもよい。

また、前記シャトル船用バース13…またはヨット、モーターボート用マリーナ14の一部には、前記浮体2（即ち、このイベントシティー用水上浮橋構造物）を押圧または曳航して推進させるために用いられる曳船索のタグボート19…が常設配置されている。なお、第1図において点線で示しているように、プロペラ18および舵20から成る推進装置21、21を浮体2の一側部に設けて、このイベントシティー用水上浮橋構造物を自航可能に構成してもよい。

ところで、図示はしていないが、前記各種設備のための動力源、光源、空調および温調等のために必要とされるエネルギーの一部を自然エネルギー

てまかなえるようにするために、太陽エネルギー取得装置（太陽電池とか、光ファイバーを利用した太陽光取り入れ装置など）、風力エネルギー取得装置（動力取り入れ装置とか、風力発電装置など）、海水と大気との温度差を利用した温度差エネルギー取得装置（温度差発電装置とか、ヒートパイプなど）等の自然エネルギー取得装置を、前記浮体2に付設するようにしてもよい。

#### 〔発明の効果〕

以上詳述したところから明らかなように、本発明に係るイベントシティー用水上浮場構造物によれば、外洋、内海、湖等を問わず任意の箇所の水上に坪かべて係留配置および移動可能な中空状浮体に、屋根付きの全天候型イベントスペース、飛行機用滑走路、ヘリポート、各種娯楽設備、各種店舗設備、宿泊設備、シャトル船用バース、ヨット、モーターボート用マリーナ等の種々の設備を装備して構成されるものであるから、従来のリゾート設備の設立事業の場合のように特別な用地の確保が不要であると共に、例えば造船所などにお

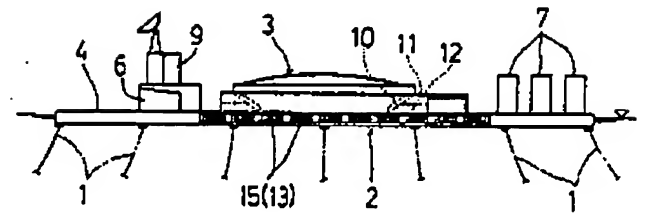
いて効率的に製造することができ、従来に比べて格段に少ない投資費用で且つ容易に実現可能であり、また、利用者にとって非常に変化に富み、また、汎用性にも富んだ便利なものであってその誘致効率に優れており、長期に亘って安定した経営を継続できる、という極めて顕著な効果が発揮され、従って、本発明の産業上の利用性は絶大である。

#### 4. 図面の簡単な説明

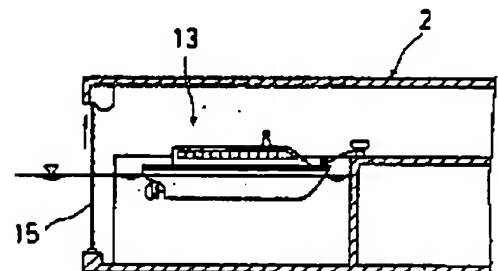
図面は本発明に係るイベントシティー用水上浮場構造物の具体的な一実施例を説明するためのものであって、第1図は全体概略平面図、第2図はその側面図（第1図のⅠ-Ⅱ線矢視図）、そして第3図は要部の拡大縦断面図（第1図のⅢ-Ⅳ線矢視図）である。

- 2 ……中空状の浮体、
- 3 ……屋根付き全天候型イベントスペース、
- 4 ……飛行機用滑走路、
- 5 ……ヘリポート、
- 7 ……宿泊設備、
- 9 ……管理センター、
- 11 ……各種娯楽設備、
- 12 ……各種店舗設備、
- 13 ……シャトル船用バース、
- 14 ……ヨット、モーターボート用マリーナ、
- 15 ……開閉ドア、
- 16 ……防波堤、
- 18 ……タグボート、
- 20 ……推進装置。

第2図

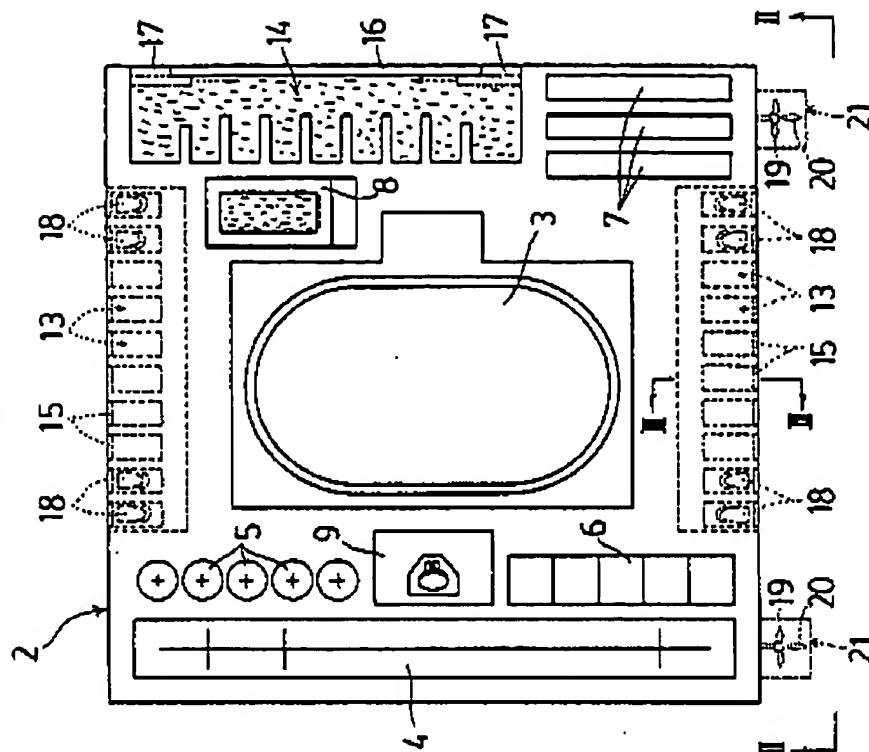


第3図



出願人 ヤマト電気エンジニアリング株式会社  
代理人 弁 理 士 堀 本 英 夫

第1図



3...4 ベントスペース、  
5...ヘリポート、  
9...管理センター、  
12...各種店舗設備、  
14...マリーナ、  
16...防波堤、  
20...推進装置。

2...中空状の塔体、  
4...飛行機用滑走路、  
7...船舶設備、  
11...各種航空設備、  
13...シタール船用バス、  
15...関税ドック、  
18...タグボート、



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: \_\_\_\_\_**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**